

肝臓
通信

むさしの

肝疾患相談センターマスコットキャラクター
「ヘパリーヌちゃん」

2023.7.1号 Vol.7

今回の特集

肝がんについて学ぼう ～予防から治療まで～

2019年に国内で、肝がんと診断された人は、男性で約2.5万人（部位別がん罹患率第5位）、女性で約1.2万人（部位別がん罹患率第11位）で、がん死亡数も全体・男性で5位となっています。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、炎症やがんがあっても初期には自覚症状がほとんどありません。健康診断などで、肝機能の異常や肝炎ウイルスの感染などを指摘された時には、まずは内科や消化器内科など身近な医療機関を受診するようにしましょう。

がん罹患数の順位（2019年）（国立がん研究センター）

	1位	2位	3位	4位	5位
男	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女	乳房	大腸	肺	胃	子宮
全体	大腸	肺	胃	乳房	前立腺

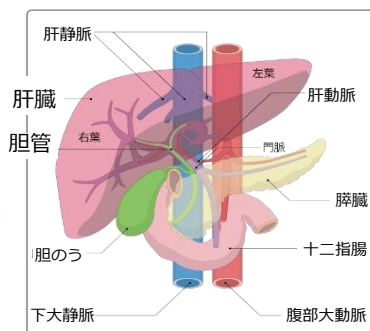
がん死亡数の順位（2021年）（国立がん研究センター）

	1位	2位	3位	4位	5位
男	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
全体	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

肝がんの概要

出典：がん情報サービス(ganjoho.jp)

日本で発生する肝がんの90%以上は肝細胞がんであるため、一般的には「肝がん」とは「肝細胞がん」のことを意味します。肝臓の中を通る胆管ががん化したものは「肝内胆管がん（胆管細胞がん）」と呼ばれ、治療法が異なることから区別されています。



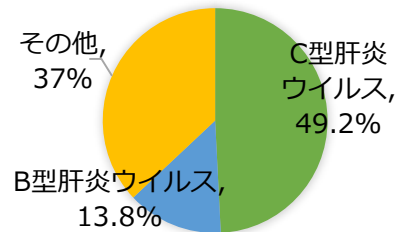
「肝細胞がん」は、肝臓の細胞ががん化したもので、多くの場合、肝臓内で再発します。また、肺やリンパ節、副腎、脳、骨などに転移することがあります。

症状…早期のがんでは多くは無症状で、進行した場合に黄疸（皮膚や目が黄色くなる）、むくみ、かゆみ、だるさや倦怠感などが出ます。

これらの症状は、肝機能の低下により現れるため、**慢性的な肝疾患**の症状でもあります。がんが進行した場合は、腹部にしこりや圧迫感、痛みが現れることがあります。

■ 肝細胞がんのリスクがある人とは

肝細胞がんの原因



第22回全国原発性肝癌追跡調査報告
(2012~2013)

- ★ 肝炎ウイルス（B型、C型）による肝硬変の人
- ★ B型慢性肝炎、C型慢性肝炎の人
- ★ 自己免疫性肝炎や原発性胆汁性胆管炎による肝硬変の人
- ★ アルコール性肝硬変の人
- ★ 最近、メタボリックシンドロームに関連した、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）からの肝がんが世界的に増加しています

予防 1



<感染確認・ワクチン接種>

- ・自分がウイルス感染していないか、確認しましょう。

→ **肝炎ウイルス検査**で確認できます。

※お住いの市町村や都の保健所で受けられます。

詳しくは、東京都保健医療局ホームページを検索→



- ・B型肝炎ウイルスには**ワクチン**があります。

※お近くのクリニックや病院にお問い合わせ下さい。

予防 2



<感染がわかった場合>

- ・肝炎が進行しないように、ウイルスの排除や増殖を抑える薬を用いた**抗ウイルス療法**を受けましょう。

→お近くの消化器科にお問い合わせ下さい。

※初回精密検査に関する費用助成制度があります。

詳しくは、東京都保健医療局ホームページを検索→



早期 発見



<B型・C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎や肝硬変がある人、ウイルス感染を伴わない肝硬変と診断された人>

- ・3~6か月ごとの**定期的な検査**（超音波（エコー）検査や腫瘍マーカー検査）を受けることが勧められています。

※定期検査に関する費用助成制度があります。

詳しくは、東京都保健医療局ホームページを検索→



がん全般の予防には禁煙、節度のある飲酒、バランスの良い食事、身体活動、適正な体形の維持、感染予防が有効であることが分かっています。

※感染 → 胃がん=ピロリ菌、
子宮頸がん=ヒトパピローマウイルス、
肝がん=C型・B型肝炎ウイルス…等



がん検診について

：がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行い、がんによる死亡を減少させることで、一般的に症状がない人が受けるものです。気になる症状がある場合には、医療機関を早めに受診することをお勧めします。（肝細胞がんについては、現在、国が推奨するがん検診はありません）

肝細胞がんの治療について

もしがんと診断されてしまった時の治療とは？

肝がんの治療は近年目覚ましく進歩しており、これまで治療が難しかったケースでもできる治療の選択肢が増えています。

標準治療*1を基本として、本人の希望や生活環境、年齢を含めた体の状態などを総合的に検討し、

担当医と患者さんが話し合っ決めていきます。

そこでキーになるのが「肝予備能*2」です。「肝予備能」がどのくらいかで、治療の選択肢が変わってきます。日頃から肝臓を労わり、健康な肝臓を維持しておくことが将来的にも大切になってくるということです。

*1) 標準治療とは、日本肝臓学会が作成した診療ガイドラインに沿った標準的な治療のこと

*2) 肝予備能とは、肝臓の機能がどのくらい保たれているかということ。「肝障害度」や「Child-Pugh（チャイルド・ピュー）分類」という指標で確認する。

Child-Pugh分類は、
・脳症の有無
・腹水の有無
・血清ビリルビン値
・血清アルブミン値
・プロトロンビンを活性値などを点数化し、A～Cに分類したもの

治療の種類

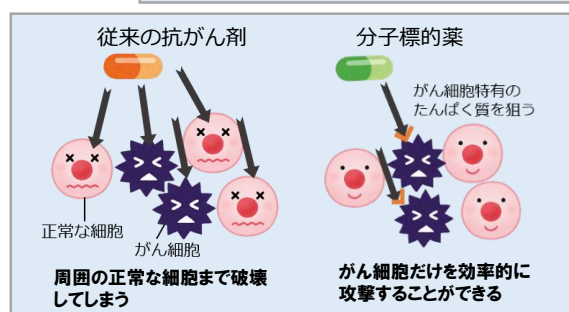
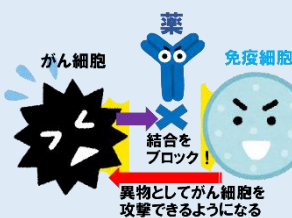
- ① **切除**：外科的治療で、がんとその周囲の肝臓を切除する。
- ② **穿刺局所療法（ラジオ波焼灼療法）**：腫瘍に電極を差し込んで、ラジオ波という電磁波による熱でがんを焼いて死滅させる。最小限のダメージでがんの局所を治療できる。
- ③ **肝動脈（化学）塞栓療法**：がんに栄養を送る血管（肝動脈）から抗がん剤を注入することでがんを攻撃し、同時に血流を止めることで、がんを兵糧攻めにして死滅させる。

④ 薬物療法：

- 免疫チェックポイント阻害薬*3
がん細胞を直接攻撃するのではなく、免疫系に作用して、免疫細胞ががん細胞を攻撃する働きを強める薬

- 分子標的薬
がん細胞の増殖にかかわる分子（遺伝子やたんぱく質）を標的として攻撃する薬
※2つの薬剤を組み合わせ使用することもある

免疫チェックポイント阻害薬の仕組み



⑤ 放射線治療・粒子線治療：

①や②ができない場合に、選択することがある。身体への負担が少なく、高齢の方や合併症のある方も受けられる。

- ⑥ **肝移植**：健康な人（ドナー）から肝臓の一部を取り出し、臓器を受け取る患者さん（レシピエント）に移植するもの。



*3) 免疫チェックポイント阻害薬は、2010年代後半から登場。日本の本庶 佑（ほんじょたすく）先生と米国のジェームズ・P・アリソン先生が、免疫抑制の阻害によるがん治療法の発見によって、2018年のノーベル生理学・医学賞を受賞したことで話題になった。

現在日本では、ほとんどすべてのがん種において実臨床もしくは治験段階にある。

【新薬ニュース】

免疫チェックポイント阻害薬イミフィンジ®・イジユド®併用療法およびイジユド®単独療法が、2023年4月から保険適用となりました。



「がん相談支援センター」に相談できます！



「がん相談支援センター」は、全国の「がん診療連携拠点病院」や「小児がん拠点病院」「地域がん診療病院」に設置されている、がんに関する相談窓口です。がんについて詳しい看護師や、生活全般の相談ができるソーシャルワーカーなどが、相談員として対応しています。患者さんだけでなく、ご家族や、その病院に通っていない地域の方々など、どなたでも無料・匿名で利用でき、主に面談または電話で相談することができます。どんなタイミングでもがんに関するさまざまなことを相談することができます。また、欲しい情報が見当たらないときや、情報の探し方についても、相談員に相談することができます。情報を探しているときにもご利用ください。

参考HP: がん情報サービス (ganjoho.jp)



武蔵野赤十字病院の がん相談支援センターのご案内

受付: 月～金曜日 (休診日を除く) 9～17時
TEL: 0422-32-3111 (代)

● 社会保険労務士による仕事の相談
毎月第2火曜日 13時・14時・15時
(各45分)

※事前に予約が必要です。空いている場合は当日でも対応できます。

● 公認心理師による気持ちの相談
月～金曜日 ※要予約

● AYA世代 (若い世代のがん患者さん)
診療チーム 月～金曜日 ※要予約

[武蔵野赤十字病院 がん診療HP]

URL: <https://www.musashinojrc-cancer.com>



令和5年度 武蔵野赤十字病院

「肝臓病教室」の予定

- ・ 7月11日 (火) 「実は危険な脂肪肝」
- ・ 9月26日 (火) 「脂肪肝の食事と運動」
- ・ 11月28日 (火) 「糖尿病と肝臓病の関係」
- ・ 1月30日 (火) 「ウイルス性肝炎」
- ・ 3月5日 (火) 「肝臓にまつわるよろず相談」

※オンライン参加もできます。
詳細や変更等は、肝疾患相談センターのホームページやツイッターなどで、お知らせしていきます。

HP: <https://kan-kyoten-musashino.jp/>



QRコード→

「この前の肝臓病教室に参加できなかった」、「もう1度見たい」、という声にお応えします！

今までの肝臓病教室の講義の動画を、肝疾患相談センターのHPに掲載中です。



トップページ> 一般・患者のみなさま
> 肝臓病教室のご案内> 過去の肝臓病教室の動画

★ 出張肝臓病教室のご案内 ★

肝疾患相談センターは、出張での肝臓病教室も承ります。ご希望のテーマに沿った講義を、あなたの職場やコミュニティに伺って行きます。

お気軽にお問い合わせください。
(出張範囲: 多摩地域)



肝臓に関する相談受付中

☎ 0422-32-3135

(月～金曜日9時30分～16時 休診日を除く)

次号Vol.8発行予定は2023.11月



東京都肝疾患診療連携拠点病院
武蔵野赤十字病院

肝疾患相談センター